参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 5 - 4
要綱上の 事業名称	(16) 学校就学環境整備事業
細要素事業名	野田中学校運動環境整備事業
全体事業費	7,911 (千円)

【事業概要、基幹事業との関連性】

東日本大震災の大津波により、野田村立野田中学校のグラウンドを活用し、被災者へ応急仮設住宅を供与している。(建設戸数:野田村213戸うち野田中学校応急仮設住宅128戸)

防災集団移転促進事業等の復興事業については、概ね平成27年度工事完了に向け着手しているが、その間、防集事業等による高台移転予定の生徒たちが通う野田中学校においては、グラウンドを利用できず、外で行う体育の授業や部活道などに支障をきたしている。

本事業にて、テニスコート (仮設グラウンド) の周囲をアスファルト舗装し、トラックとして 造成することにより、生徒たちが体育の授業や部活道など多目的・複数的に活動できるようにす るものである。

【参考面積】

野田中学校グラウンド: $17,899\,\text{m}^2$ → 応急仮設住宅により利用できず。 テニスコート(仮設グラウンド): $5,731\,\text{m}^2$ → 本事業により $7,046\,\text{m}^2$ まで拡張。

(参考)

野田中学校生徒数 110人(3年生26人、2年生47人、1年生37人)

部活動数 11部活 (うち外での部活 4部活)

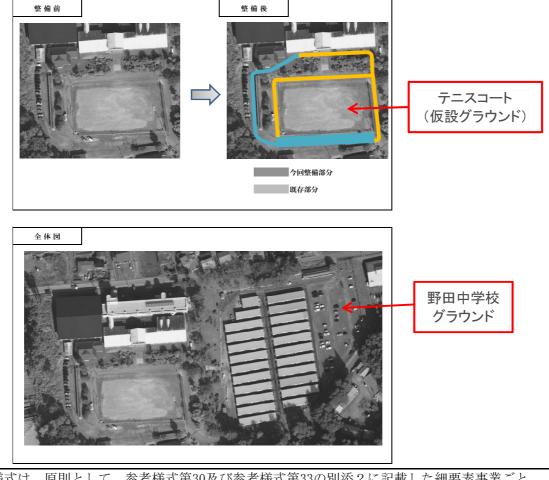
※当該中学校は野田村で唯一の中学校であり、防集による移転世帯や区画整理内の再建世帯、応急仮設住宅の居住世帯の生徒が通学するものである。

(全体事業期間:H25)

【経費の内訳】

<平成25年度> 事業費 7,911千円 (調査測量設計費430千円、工事費7,481千円)

【細要素事業の概要を示す図面】



- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごと に作成してください。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

事業番号	★ D 17 - 2 - 10
要綱上の 事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	防災拠点施設調査事業
全体事業費	3,801 (千円)

【事業概要、基幹事業との関連性】

本村の中心部である役場付近の市街地は、東日本大震災の大津波により、概ね2m以上の浸水を受け、住宅や商店街が流失・全壊するなど広範囲にわたり壊滅的な被害を受けた。このため、潤いと活気ある市街地への再生と防災性を高めることを目的に土地区画整理事業を実施している。この村内中心部(城内・北区地区)においては、土地区画整理事業完了後も、防災拠点施設等の公共施設を整備することとしており、その基本構想及び基本計画、基本設計を本事業により行うものである。

城内地区については、土地区画整理事業のエリア内において、別事業(災害復旧事業)で津波により流失した保健センターの整備を計画しており、その施設に防災拠点、避難施設等の付加を検討しているところである。本事業では、村内中心部(城内・北区地区)における、本村の市街地の再生と防災性の向上を図り、「野田村東日本大震災津波復興計画」の基本理念である「安全・安心で活力あるむらづくり」の実現を図るため、施設整備位置の具体的な場所の選定等含め、防災拠点施設整備に係る基本計画の作成を実施するものである。

(全体事業期間: H25)

【経費の内訳】

<平成25年度> 事業費 3,801千円{城内・北区地区の基本計画(基本設計)作成費}

【細要素事業の概要を示す図面】



- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごと に作成してください。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。